

タッチタイピングの習得について

KOM

1. はじめに

この文章は、自分がタッチタイピングを習得するため使ったことのあるソフトやサイトのレビューを書いたものです。タッチタイピングを習得するのに役立ててもらえれば光栄です。

また、治郎吉商店にインターンシップなどで来ようと思っているなら、是非タッチタイピングを習得しておくべきだと思います。この治郎吉商店みたいに、タッチタイピングを習得するように言ってくれる会社は少ないので、チャンスだと思って挑戦してみてください。

ちなみに「ブラインドタッチ」は差別用語らしいので、普段から「タッチタイピング」という言葉を使うようにしましょう。

2. タッチタイピングの利点

まず、そもそもなぜタッチタイピングを習得した方が良いのか、という理由は

(ア) 視点の移動が少なくなるため、目が疲れにくい

(イ) 入力速度が手元を見ながら打つより格段に速くなる

などがあります。また、タッチタイピングは習得に時間がかかるように思われますが、普段からキーボードをチョコチョコ触っているような人だったら一日 30 分の練習をすればだいたい 2 週間くらいで形になると思います。

3. タッチタイピング習得に使っているソフトやサイトのレビューと練習方法

まず、今までに使ったことのあるソフトを紹介します。ちなみに全部フリーです。

ソフト名	MIKATYPE (美香のタイプトレーナー)
入手先	http://www.asahi-net.or.jp/~BG8J-IMMR/
レビュー	非常にシンプルなタイピングソフトで、ゲーム性などは一切ありませんので、長い時間やるにはちょっとつまらないかもしれません。そのかわり、ランダムに並んだ文字の練習ができたり、英単語の練習ではプログラム言語別の英単語練習も出来るなど、ユニークな機能もあります。タイピング基礎力をつけるには良いと思います。

ソフト名	鬱打
入手先	http://aaesp.at.infoseek.co.jp/
レビュー	これは非常に好き嫌いが分かれるタイピングソフトだと思います。名前からしてインパクトがありますが、これは「2ちゃんねる」の用語やコピペなどをひたすらタイピングしていくソフトです。本当にただそれだけなので、「2ちゃんねる」を知らない人にとっては、まったくつまらないソフトだと思います。一応インターネットランキング機能があるそうですが、自分はなぜか出来ませんでした。サイトの更新が止まっているので、もうこの機能は使えなくなっているのかもしれませんが。また、欠点があり、例えば、「ち」を入力するとき「ti」か「chi」どちらか設定したほうしか認識してくれないということです。 (MIKATYPE と e-typing は表示に従わなくても自動認識してくれます) ただ、俗に言う「2ちゃんねらー」なら、のめり込めるソフトだと思います。

ソフト名	ozawa-ken
入手先	http://www.higopage.com/ozawa-ken/
レビュー	このソフトは、格闘ゲーム風のタイピングソフトで、表示される単語を速く正確に打ち込んで相手の体力を減らして、体力を0にすれば勝ち、というような感じでゲームを楽しみながらタイピングを習得できます。登場キャラクターは全部実写でコミカルな動きをしていて、非常に楽しめます。ゲーム性が高いので、長い時間やっても飽きないと思います。ただこのゲームも上の「鬱打」と同じで、「ち」を入力したとしたら、「ti」か「chi」どちらか設定したほうしか認識してくれないという欠点があります。また、他にも画面に表示された1文字を素早くタイプして、瓦を割っていく、といったミニタイピングゲームも2個ついていて、非常にオススメです。

次に、今までに使ったことのあるサイトを紹介します。

サイト名	e-typing
入手先	http://www.e-typing.ne.jp/
レビュー	このサイトは登録が必要ですが、一回登録してしまえば基本的なタイピングの練習をWEB上で出来るので、個人的に結構使っています。もちろん登録は無料です。また、このサイトの「腕試しタイピング」では、タイピング速度と正誤率の二つの項目から点数が出され、それによって自分がどの程度のレベルかを教えてくれます。また、その点数をネットランキングに登録したり、「カルテ」というものに登録できたりします。「カルテ」とは、今までの腕試しの結果（一分間に何回正しいキーを押したか、正誤率、上で述べた点数）をデータベースに登録して、時系列のグラフで、今までの自分のレベルアップの具合を確認することが出来るものです。この機能は、自分の練習の成果を確認できるので、自分は気に入っています。ネットがつながっている環境であれば、どこでも出来るので、便利だと思います。

上に挙げた中で一番オススメなのは、ズバリ「ozawa-ken」です。フリーソフトながら、かなりクオリティの高いタイピングソフトだと思います。このソフトなら、タッチタイピングを練習するのが面倒だと思う人でも、継続して練習できると思います。

4. 練習方法

最後に、これらのソフトを使った練習方法を、自分の体験に基づいて紹介していきます。これらはあくまでも一例なので、自分なりの方法を見つけたら、その見つけた方法で練習するのがいいと思います。一応、大まかにレベル分けをしたので、自分のレベルに合った練習方法を参考にしてください。

(ア) 手元を見ないで文字を打つことがまったく出来ない人

このレベルの人は、「MIKATYPE」や「e-typing」でホームポジションとその上下の段を見ないで打てるようになるまで練習しましょう。数字のキーは後回しでも良いと思います。また、タイピングの姿勢も重要で、ホームポジションに手を置いたとき、自分の肘が身体から離れないくらいキーボードと自分の身体を寄せるのが正しい姿勢です。

「MIKATYPE」と「e-typing」、この二つのソフトは画面にキーボードの絵が表示されていて、例えば「A」を打つような場合は、キーボードの「A」の場所が光り、どの指で押したら良いのかも表示されます。それにしたがって練習しましょう。

ちなみに、ホームポジションとはタッチタイピングする際に両手の親指以外の8本の指を定位置に置くことです。左手の小指から順に「A」「S」「D」「F」、右手

の人差し指から順に「J」「K」「L」「;」がホームポジションになります。

(イ) ゆっくりではあるが、手元を見ないで入力ができる人

このレベルに到達した人は、タイピングする速度を速くするよう心がけて、練習しましょう。また、まだ数字のキーを見ないで打てないという人はタイピング速度を上げる練習をする前に、数字のキーも手元を見ないで打てるようにしましょう。

このレベルでは、「ozawa・ken」を練習するメインのソフトにするのが良いと思います。「ozawa・ken」は、速く正確に打たないとゲームオーバーになってしまうので、タイピング速度を上げるにはもってこいだとおもいます。

また、このレベルになったらホームポジションなどの基本練習に時間をさくより、
単語・文章を打つのに時間を使ったほうが良いと思います。「e-typing」などで腕試しタイピングをして、データをカルテに残して、タイピング速度の上がり具合を実感するのも、やる気を維持するにはいい方法です。

以上の練習を続けていけば、効率よくタッチタイピングを習得できると思います。また、練習は一日にまとめてやるのではなく、毎日コツコツと練習していくことがタッチタイピング習得の近道です。

タッチタイピングの練習をしていると、必ず壁にぶち当たると思います。思うようにタイピング速度が上がらなかつたり、ミスが多くなってしまうたり、などです。どうしてもうまくいかなかった時は、基本を見直すと良いと思います。例えば「ホームポジションを忠実にまもっているか？」や「タイピングの姿勢はきちんとしているか？」などです。これらを、よく見直していけば必ず壁を乗り越えることができると思います。

では、これを読んできた人がタッチタイピングを習得できることを期待しています。